

## 令和8年度 第1回 北浜中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月1日（金） 13:30 から 15:00
- 2 開催場所 北浜中学校 会議室
- 3 出席委員 大村 仁、齋藤千朝、古谷一平、原崎佳久、  
田中隆雄、椿田育代、高林博史、夏目恵利、小原佳丈
- 4 欠席委員 波多信広
- 5 学校支援コーディネーター 竹内真哉、松嶋のぶこ、渥美英明（欠席）
- 6 オブザーバー 松野 聖（北浜南部協働センター職員）
- 7 学 校 徳田弘子（校長）、水谷裕士（教頭）、松島 愛（CS 担当）  
原 路壘（生徒指導主事）、鈴木敬子（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 鈴木敬子
- 10 新規委員任命書委嘱書交付  
新規委員2名（夏目、小原委員）に委嘱書を交付
- 11 議長の選出  
司会から議長の選出について意見を求めたところ、会長から原崎委員が推薦され、全員異議なくこれを承認した。
- 12 協議事項
  - （1）本年度の学校運営の基本方針について
    - ・ グランドデザイン
    - ・ 学校いじめ防止基本方針
  - （2）今年度の学校運営協議会の目標について
  - （3）夢育やらまいか事業に対する意見
- 13 会議記録  
司会の原崎委員から、委員総数10名のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
  - （1）本年度の学校運営の基本方針について（校長）
    - ・ グランドデザイン  
学校教育目標の「自他を敬愛し、自立できる生徒」の実現に向けて教育活動を進めていく。自分のことをまず大事にする。そして同じくらい相手のことも大切にする。多様性の時代において、自分と異なる価値感や考え方を受け止め、認め合う力を育む。予測不可能な時代において、正解のない課題に対し、試行錯誤しながら答えを見つけていく主体性を重視する。タブレット端末なども有効活用し、

第4次浜松市教育総合計画のコンセプト「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」にも合致した教育活動を進めていく。

- ・学校いじめ防止基本方針（原生徒指導主事）

関わりを意識し毎日を過ごしている。少しの困り感も見逃さないよう心掛けている。1人ではなく学年・管理職も情報共有し、学校全体で対応している。生徒同士の関係性をよりよくするために毎月クラスごとにグループエンカウンターを行ったり、6月には生徒会主体で全校集会を予定し、小さな困りごとを拾えるようにしている。

（意見）

- ・いじめはどれくらいあったか？また解決したか？（斎藤委員）

→昨年度何件かあり解決したものもあるが、年度末の事案は進級後も見守っているところである。（原教諭）

- ・今年度職員が減っているが何人減ったのか。（原崎委員）

→単純に言うとも授業を受け持つ教員は4人減った。いろいろな形での支援に入ってくれる人がいる。（校長）

- ・情報の共有が難しいのではないか。（原崎委員）

- ・部活動が変わるが、変わって新しいことがあるか？（高林委員）

→職員が減っても部活動の数は変わっていない。顧問の配置も苦慮したが、家庭の事情もある中「生徒のために」と熱意を持って引き受けてくれた。マンパワーに支えられている。（校長）

（2）今年度の学校運営協議会の目標について（教頭）

- ・昨年度の自己評価表で多く出ているのは「発信力」なので、「協議会の発信力」とした。また、教職員・生徒の生の声を聴く機会を更に増やすという2点にした。

（3）夢育やらまいか事業に対する意見（教頭）

- ・総合的な学習の中で「生き方教育」をするために活用したい。

学年に応じた内容でいろいろな講師に話を聞く。

- ・職業講話等、だれか講師を依頼できるか。（原崎委員）

- ・希望があれば探したい。地元で活躍している人や地元出身者も良いと思う。このまま意見書を提出したい。（大村委員）

- ・全体を通して意見があるか？（原崎委員）

- ・テストのやり方が変わり単元テストが主になっているが大きなテスト（入試等）の時に困っていないか心配である。（斎藤委員）

→以前の期末テストはないが、実力テストを行っている。家庭学習の習慣が身に付いてきている。（教頭）

- ・ 単元テストは小学校方式なので、1年生は抵抗がないのではと思う。各学期毎の大きいテストが無いことが心配なのではないか。しかし、高校受検の時に集大成となればよいと思う。（大村委員）
- ・ 塾の先生に聞くと他の学校ではやっていないので、この2年やってどうなのか、他の学校との違いも聞きたい。

（竹内コーディネーター）

- ・ 北浜中だけ今の方法だが、2年やって効果はどうか。ほかの学校がやっていない理由は何か。情報を知りたい。（古谷委員）
- いろいろな視点からの評価になるので、常にきめ細やかに見ていく必要があり職員はしんどい部分もある。実力テスト導入から3年目ということで検証の大事な年であると思う。（校長）
- ・ 子供の様子を見ると、持続力がついたと思う。（高林委員）
- ・ 毎日勉強しなくてはいけないので、大変そうである。自分たちの頃とは違う。データで成果を見たい。発信する方法はITだけでなく、年配向けの回覧等も必要である。
- ・ 令和4年度からの動きとして、職場体験や体育祭等のサポートを行ってきたが、今後も学校応援隊長として窓口になりたい。

（原崎委員）

- ・ PTAと協議会で混乱しやすく、曖昧になっていた。今年度・来年度にかけて、どちらが担うべき案件かを整理し役割分担をしたい。協議会としては一つ上の俯瞰の部分で考えたい。（大村委員）
- ・ 民生児童委員として顔つなぎをしたい。（齋藤委員）

### 1.3 その他報告事項等

- ・ 今後の予定

第2回学校運営協議会	令和8年	7月22日(水)	午後1:30~3:00
第3回学校運営協議会	令和8年	11月19日(木)	午後1:30~3:00
第4回学校運営協議会	令和9年	2月19日(金)	午後1:30~3:00